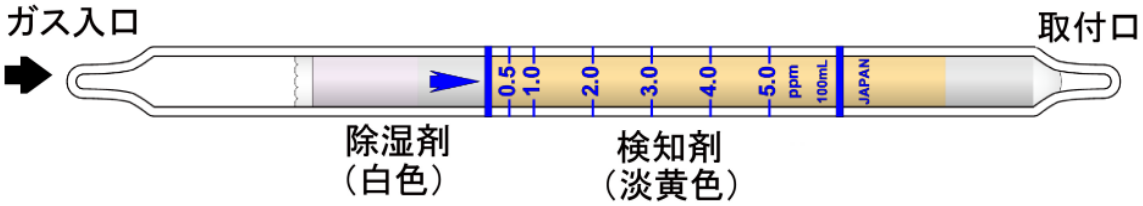
130U　メルカプタン類 注1)



仕　様

測定範囲	0.1～10ppm 注2)
試料採取と測定範囲	50mL(読取値×2: 1～10ppm) 100mL(印刷目盛 : 0.5～5.0ppm) 500mL(温度補正値×0.2: 0.1～1ppm)
測定時間	1 分間/100mL
検知限度	0.02ppm(500mL 採取時)
色の変化	淡黄色 → 桃色
反応原理	銀化合物と反応して酸性物質を生成し，指示薬が変色する。
有効期限	2 年
経年変化	変色の境界が不明瞭になり、指示が高くなる。
使用温度範囲	0～40℃(温度の影響なし) 注3)
湿度の影響	なし 注4)
校正方法	パーミエーションチューブ法

他のガスの影響

妨害ガス	濃度〔ppm〕	影響
アルシン		指示が高くなる。
セレン化水素		指示が高くなる。
リン化水素		指示が高くなる。
硫化水素		指示が高くなる。

注1)　測定対象ガス

メチルメルカプタン，エチルメルカプタン，イソプロピルメルカプタン，n－プロピルメルカプタン，tert－ブチルメルカプタン

注2)　検知管の濃度目盛はメチルメルカプタンで校正している。その他のメルカプタンはメチルメルカプタンの種類ごとに定められている係数を乗じて補正する。

注 3)　(500mL 採取時は温度補正あり)

注 4)　500mL 採取時は使用湿度範囲 10～90%RH

※各測定ガスの補正を次式により行ってください

真の濃度(ppm) ＝ 読取値(ppm) × 補正係数

各測定ガスの補正係数表

測定ガス名	補正係数
メチルメルカプタン	1.00
エチルメルカプタン	1.05
iso-プロピルメルカプタン	1.15
n-プロピルメルカプタン	1.15
tert-ブチルメルカプタン	1.10